

# あつぎ 農委だより

2024年  
1月1日  
第93号  
編集・発行  
厚木市農業委員会

女将さんの人柄と  
味噌造りからつながる  
地域の絆



新年、あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで健やかに新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。また、日頃から農業委員会活動に対する温かいご理解と賜わったご協力に、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返ると、燃料の高騰や夏の日照り続きなど、農業者の皆さまには多大なるご苦労があったことと存じます。

さて、全国で地域計画の策定が現在進められていますが、本市でも昨年、地域計画に係る農地の利用に関する意向調査を実施いたしました。この意向調査は、10年後の農地利用の目標地図の作成に向けて、市街化区域を除く農地の所有者・耕作者を対象とし、本市の農業の未来についての重要な資料を集める目的で行いました。意向調査にご協力いただいた皆さまには、心から感謝申し上げます。

今後におきましては、市において各区域で地域計画の策定に向けた協議の場が設けられることと存じますが、農業委員会としましては、地域計画の実施を通じて、農地利用の最適化と新規参入者の支援を目指し、本市の農業の未来を切り開く努力を続けてまいります。

また、農業の多面的機能の発揮を通じて、農業経営基盤の強化を促進してまいります。令和6年を迎え、本市農業委員会としましては、市民・農家の皆さまと共に本市の農業のさらなる発展を目指し、持続可能な農業の実現と競争力の強化に向け、一層の努力をさせていただきます。

最後になりますが、皆さまにとって今年1年が実り多き年となりますようお祈り申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。



厚木市農業委員会  
会長 山川 宏司

# 「味噌工房なすな」の農業と6次産業を通じた地域貢献

女将の新藤悦子さん(77)が熱意を注ぐ「味噌工房なすな」。平成15年に立ち上げた恩名の工房は、悦子さんの人柄が惹かれ、地域の方々が集まる心温かい場所です。米20アール、大豆3アール、その他野菜を7アールほど自家栽培し、これらの農産物から独自の技術と地域の伝統を組み合わせて、多くの農産加工品を生産しています。



樽の中で1年以上熟成させる

自家製の米こうじ味噌、麦こうじ味噌をはじめ、米と麦こうじの合わせ味噌やキヌア味噌などの味噌製品、また、こうじ甘酒、塩こうじ、醤油こうじなどの発酵食品、発酵調味料のほか、梅干しや漬物、人気の酒まんじゅうなど、全て手造りの安心安全で伝統的な食を提供しています。

## 新藤家の農業と味噌造りへのこだわり

農家として25年以上続く新藤家。嫁いだ悦子さんは、義父とともに農業に励んだそうです。「国から預かっている大切な農地をしっかり管理し、耕作して守っていくことが、我々農家の使命である」とい



煮てすりつぶした大豆に、こうじ・塩を手作業で力強く混ぜ合わせる、仕込みの仕上げ作業

生前の義父の言葉に心打たれたという悦子さん。義父亡きあとも後継者として農地を守り続けています。農地を守る傍ら、伝統的な味噌造りにも情熱を注いでおり、自身の農場で育てたお米や大豆を使用。生産から加工、販売までを一括して行い、自家製品の全ては、無添加で手

造りすることにこだわっているそうです。特に原料の大豆は、津久井在来種を自身の畑で栽培し、昔ながらの味を大切にするため、手間がかかる製造方法を貫き、素材そのものの味を生かしたおいしさを伝えています。

## 地域の絆で造る「こだわりの味噌」

「味噌工房なすな」の伝統的な味噌造りの仕込み作業は、月に1回程度、悦子さんの人柄のもと、地域の方々が手伝いに集まって行われます。



大豆の煮汁をお汁にしたうどんを食し、つかの間の休息

大豆の煮汁をお汁にしたうどんを食し、つかの間の休息。最後は仕込み作業は全て終えた頃には10時間以上が経過。最後は仕込み作業は、1年以上寝かして熟成させると味噌が出来上がるそうです。よく熟成した味噌は、栄養分を多く含む、うま味も抜群です。



うま味成分・栄養満点の熟成味噌

りますが、その開始は早朝4時頃。それから4時間ほど、釜で大豆を煮ます。

大豆が煮上がる頃になると、お手伝いの方々が集まり、煮上がった大豆をすりつぶし器で全て半ペースト状にし、冷ましたのち、米こうじや麦こうじなど、造る味噌に合わせてこうじと塩を練り返し手作業で力強く混ぜ合わせ、一連の仕込みが終わりです。

早朝からはじめた仕込み作業は、全て終えた頃には10時間以上が経過。最後は仕込み作業は、1年以上寝かして熟成させると味噌が出来上がるそうです。よく熟成した味噌は、栄養分を多く含む、うま味も抜群です。

## 持続可能な農業と地域社会の未来への展望

悦子さんは、「味噌工房なすな」において、地域の伝統と環境を尊重しながら、持続可能で地域社会



工房と売店の建屋全景

「味噌工房なすな」の手造り味噌をはじめ、無添加農産加工品は、工房内の売店のほか、「JAあつぎ夢未市」や「厚木市まるごとショップあつまる」で購入できます。



出来上がった味噌などの発酵食品

## 新規就農者紹介

### 畑で育む喜びと笑顔

森 浩之さん

澄んだ空気の中、鳥たちのさえずりを聞きながら、作物の生育状況を確認する森浩之さん(43)。自らの手で育てた作物を提供し、お客様に喜んでもらいたいという思いで、令和3年に農業を始めました。現在は、棚沢や下萩野などで120アールの畑を借り営農。年間十数種類の野菜を育て、市内の直売所で販売しています。

## 新鮮な野菜の

市内での農業経営の状況や、就農に必要な資格や手続きについて理解を深めた森さんは、その後、かながわ農業アカデミーでの1年間の研修を経て、農業者としての第一歩を踏み出しました。

## 就農支援を経て一歩

就農を志した森さんが初めに訪



カブの生育を確認する森さん

農業に関する相談をお受けします  
新規就農、農地の貸し借り、農作業の受委託など、お気軽にご相談ください。  
厚木市都市農業支援センター  
☎221-5511  
(JAあつぎ本所2階指導販売部内)



都市農業支援センター職員と意見交換

は大きな喜びを感じています。

## 経験することが勉強

順調に進んでいた森さんの農業経営でしたが、昨年の夏は厳しい暑さに直面。予定していた作業が思うように進まず、計画どおりに栽培・出荷ができなかったと振り返ります。「自然が相手なので、実際にやってみないと分からないことばかり。机上で考える計画と実際は違うので、経験することが勉強です」と、困難も前向きに受け止めています。

## 確かな経営を追求

農業の魅力と厳しさに向き合いながら、森さんは確かな経営を追求しています。急激な規模拡大よりも、まずはしっかりとした基盤を築くことを大切に、5年か10年かけて学び、品質の高い農作物を持続的に提供することを目指しています。

「そのためには、健康と安全も大切にしたい。体が資本ですから」とほほ笑む森さん。これからは森さんの野菜が、多くの皆さんの食卓に喜びを運びます。

## 委員活動紹介

### 研修視察を実施しました



千葉県農林総合研究センターに到着

令和5年11月7日、農業委員会研修視察を4年ぶりに実施しました。19人の農業委員・農地利用最適化推進委員が参加し、千葉県農林総合研究センターの本場(千葉市緑区)を視察しました。同センターは、17の研究室において、高品質・安定生産に向けた技術や生産者・消費者のニーズに合わせた研究などを行っており、千葉県の農業を支える重要な役割を担っています。



真剣な表情で職員の説明を聞く委員

施設内の高温対策や炭酸ガスを用いた技術の確立などを重点的に紹介していただきました。参加した委員は、「この研修視察で得たものを生かし、今後の営農などに還元していきたい」と、思いを新たにしていました。

## 地域計画

### 意向調査にご協力いただきありがとうございます

昨年11月、市街化調整区域内の農地所有者・耕作者約4500世帯の皆さまへ、今後の農地の利用について、意向調査を実施いたしました。

多くの皆さまから貴重なご意見を頂戴し、ご協力いただきましたこと心から感謝申し上げます。

皆さまの意向をもとに、10年後の地域の農地を誰がどのように守っていくのかなどについて話し合うため、農業委員会において目標地図の素案を作成しました。

この素案をもとに、市が各区域において協議の場を設置し、地域の方々と関係団体などが農業について話し合いを行い、地域計画が策定されます。

協議の場については、周知・案内がありましたら、是非ご参加いただき、同計画の策定に向け、有意義な意見交換となることを切に願う次第です。

なお、意向調査にまだ回答されていない方には、令和6年1月31日までに、同封されている返信用封筒やインターネットの意向登録サイトにて回答いただきますようお願いいたします。



家族で意向について話し合う農家

**農地を農地以外の目的に利用する場合は、  
農地転用許可が必要です。**  
(市街化区域内では届出が必要です)



**STOP  
農地の違反転用**



農地を無断で転用すると、農地法違反になります。  
工事の中止はもちろん、農地への原状回復命令を受けたり、  
厳しい罰則が適用されることもあります。

まずは農業委員会に相談しましょう！

**農地利用最適化に向けた  
意見・要望を市長に提出**

昨年9月21日、農業生産力の増大、農地の保全のため、農地利用最適化推進に関する意見、施策・予算要望を市長に提出しました。

**令和6年度  
主な意見・要望**

- ◎ 積極的な意見交換による、幅広い見解および特性を生かす実効性の高い地域計画の策定
- ◎ 認定農業者支援・育成事業補助の周知徹底
- ◎ 新規就農者が効率的に営農するための住居および農業用施設のあつせん事業の検討
- ◎ 原油高や円安などによる農業経営の圧迫の緩和に向けた独自支援・施策の検討



山川会長(左から3人目)らが山口市長に提出

その他、継続要望と合わせて22項目の意見・要望を提出しました。

- ◎ 食料自給率向上のための地場産農産物の消費拡大事業の推進
- ◎ 外来生物などによる農作物への影響の現状把握および駆除・防除などの対策の検討

**農業塾開講のご案内**

J Aあつぎ管内の農業に関心のある方を対象に研修を開講します。  
**＜開講内容＞**  
 講座とは場(温水地区)での栽培実習を通し、農業・農作物に関する基礎知識を学びます。また、基礎コースを修了された方で当J Aが認めた者は、農家研修で実践的な技術・知識を学び新規就農を目指せます。

コース名	基礎コース
開講回数	講座4回 実習10回 全14回(予定)
募集人数	15人以内
受講料	組合員21,000円・非組合員23,000円
開講期間	令和6年3月上旬～8月下旬

**＜申し込み方法＞**  
 J Aあつぎ本所2階指導販売部窓口にて「受講申込書」に必要事項を記入し提出。  
**※本所のみ(8時30分～16時30分)の受け付けとなります。**  
 ※申込書は当日記入、又はJ AあつぎHPからダウンロードし、事前記入・持参も可。  
 ※申し込み多数の場合は、受講申込書の志望動機などにより選考し、受講が認められた方のみ通知します。

**＜申し込み受付期間＞**  
 令和6年2月1日(木)～7日(水) [土日を除く]

**＜受講資格＞**  
 1 J Aあつぎ管内(厚木市・清川村)在住の方  
 2 1に該当しない方で、青年等就農計画を作成および申請し、J Aあつぎ管内で就農しようとする者

**＜問い合わせ先＞**  
 J Aあつぎ指導販売部 地域農業対策課 ☎221-2273



技術を学ぶ受講者たち

**新任農業委員紹介**

**【担当地区】**  
 依知地区  
**【電話番号】**  
 ☎245-5656  
**【メッセージ】**



なかまる ゆたか  
**中丸 豊委員**

令和5年8月8日付けで中丸豊氏が新たに農業委員に選任されました。  
 なお、湯舟武氏が5月31日をもって農業委員を退任されました。  
 在任中はご尽力を賜り、ありがとうございました。

**編集手記**

新鮮で安全な農畜産物を安定的に供給したいとの願いのもと、農業者は日夜努力しているところですが、農業を取り巻く環境は、相変わらず厳しいと言わざるを得ません。  
 燃料や肥料、飼料の価格高騰で、地元の関係団体から各自自治体には経済対策の要望などが出されていることが予想されます。  
 先日、所管の農業政策課に問い合わせたところ、「本市においても、市独自に給付金を支給している」「農業者の厳しい状況は承知しているので、来年度に向けても何らかの予算措置を考えた」となどの回答をいただきました。

また、昨年の9月21日には、農委だよりの記事にもあるように、令和6年度に向けた意見・要望を市長に提出しました。

国が支える 安心が大きくなる  
**担い手積立年金**

- 担当委員から  
 農業者年金についてワンポイント**
- 農業者年金は、家族経営を中心とした皆さんが加入する2階部分の年金であり、終身年金で社会保険料控除があるなどメリットが多く、安定した制度です。
  - 脱サラ後、農業を始めると同時に夫婦で農業者年金に加入することで十分な老後の生活費を賄うことが可能です。
  - 国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」に加入して安心して豊かな老後を!!
  - 税の軽減の立役者です!!
  - 農業者年金は、今のあなたと老後のあなたを応援します。

詳しくは...  
 農業者年金基金 検索 <https://www.nounen.go.jp>  
 お手続きは、お近くのJAあつぎまで

月700円(送料込)  
 毎週金曜日発行  
**全国農業新聞**  
 お申し込みは農業委員会事務局へ